受付番号	047	グループ名称	かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会

様式3

事務局体制の確認

選択	事務局体制の確認
□	グループ内に専任の担当者はいない
■	グループ内に専任の担当者を配置している
選択	**事務局の業務委託の確認**
■	グリーン化事業に係る業務は事務局内で行っている
□	外部の業者に部分的に業務委託をしている
□	外部の業者に全ての業務を委託している
業者名	
□	事務局の同一担当者が複数のグループを担当している
選択	**グループのサポート体制**
□	基本的に施工事業者が全て行い、交付申請等補助申請のみ対応
■	設計申請等のサポートが出来る体制になっている
■	施工に関するサポートが出来る体制になっている
□	維持管理に関するサポートが出来る体制になっている
□	地域型住宅の営業提案に関するサポートが出来る体制になっている
■	その他、グループ特有のサポート体制がある
内容	ちんしん保証の代理店業務（瑕疵保険、住宅履歴サービス、各種保険）、フラット35の代理店
選択	グループ内の情報共有の方法
■	グループ内で事業説明会を実施する
□	SNS等の情報共有ツールを使った情報公開・共有
■	メール・メーリングリストを使った情報発信
■	ホームページ等Webを使った情報共有・発信（会員専用ページなど）
□	TEL・FAXを使った情報共有・発信
□	その他
内容	
選択	所属工務店の廃業等があった際の対応
□	指定ルールに基づいて積立を行っており廃業があった際の検査費用として活用し維持管
■	グループ事務局で維持管理を引き継ぐ工務店を紹介
□	グループ事務局にて維持管理を代行
■	グループ事務局が住まい手と相談し住まい手の意向に合わせる
□	第三者機関に維持管理業務を任せるため問題なし
□	グループ事務局として対応しない
□	その他
内容	

地域型住宅の仕様、品質に関する取組みについて

選択	主要構造部における地域材の推奨割合
□	５０%未満
■	５０%以上
□	８０%以上
選択	**グループの住宅性能の向上や第三者による評価に関する取組**
■	設計性能評価書を取得している
□	建設性能評価書を取得している
■	耐震等級３を取得している
□	ゼロ・エネルギー住宅でも長期優良住宅の認定を取得している
□	ZEHに取り組んでいる
□	BELSに取り組んでいる
□	低炭素住宅の認定を取得している
■	その他
内容	断熱性能等級4以上、高齢者対策等級3を取得する

受付番号	047	グループ名称	かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会

様式3

選択	地域型住宅の生産体制に関する取組み
■	地域型住宅で使用する用材の寸法規格化
■	地域型住宅の施工に関する統一基準がある。（一部箇所も含む）
■	地域型住宅の信頼性確保に向けた検査ルールがある
□	地域型住宅の積算・見積もりに関する統一したルールがある
□	使用する地域材の在庫把握の仕組み
□	指定（推奨）の建材・住宅設備機器等の活用による在庫情報の共有
□	地域型住宅としてのグループ独自の証明証の発行
□	完成保証・地盤補償等の各種保険の添付（瑕疵担保責任保険は除く）
■	その他
内容	要構造部に50%以上使用する。但し羽柄材（間柱・母屋・棟木・隅木・根太・垂木）に合法木

地域型住宅の維持管理に関する取組みについて

選択	住宅履歴情報の管理・活用について
■	住宅履歴情報は施主が保管管理を行う
■	住宅履歴情報は施工工務店で保管管理を行う（施工工務店任せ）
□	住宅履歴情報はグループ事務局で一括して保管管理を行う
□	グループで指定する住宅履歴情報サービス機関で保管管理する
■	その他
内容	株式会社住宅あんしん保証「あんしんいえかるて」の推奨

選択	維持管理の実施に関する取組みについて
□	グループ共通の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
■	各社個別の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
□	グループとして外部の機関と提携（契約）して維持管理を実施
■	維持管理の実施に関しては施工工務店任せ
■	その他
内容	既存住宅現況検査員によるインスペクションの推奨

選択	グループ事務局での維持管理の対応について
□	グループ事務局が施工事業者に連絡して維持管理・点検を行う
□	維持管理の実施に対してグループ事務局にて報告を受け管理する
■	維持管理の実施に関してグループ事務局では関与しない

グループで実施する研修、サポート体制に関する取組みについて

選択	グループで実施、または構成員が参加する研修会・講習会について
■	補助交付申請、実績報告等の補助事業に関連する説明会
□	地域型住宅の認定・評価書取得等の設計技術・知識に関する研修会
■	地域型住宅に関連した施工技術・知識に関する研修会
□	地域型住宅の維持管理に関連した研修会
□	住宅性の評価・表示協会が開催する講習会への参加
□	住宅金融支援機構が開催する仕様書説明会への参加
□	改正省エネルギーに関連した研修会
■	顧客提案等の営業手法等に関する研修会
□	工務店経営に関連した研修会（人材育成・働き方改革・民法改正等）
□	ＣＣＵＳ（建設キャリアアップシステム）に関連した研修会
■	事業者向け現場見学会
■	その他
内容	法改正に伴う業務セミナー（インボイス制度など）

選択	グループ（事務局）の未経験工務店の割合
□	未経験工務店は所属していない
□	未経験工務店の所属が１／３未満
■	未経験工務店が１／３以上
□	未経験工務店がどれだけ所属しているかわからない

受付番号	047	グループ名称	かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会

様式3

選択	グループの未経験工務店に対するサポート体制
■	未経験工務店への優先サポートの実施
□	地域型住宅の補助活用マニュアル（手順書）の用意
□	各種認定取得サービスの活用提案
□	施工管理・施工検査のサポート
■	営業支援（提案書作成・営業同行）
■	事務局による交付申請書類作成支援
■	事務局による実績報告書類作成支援
□	特にサポートは行っていない
□	その他
内容	

地域型住宅の地域社会との連携や継承についての確認

選択	地域型住宅として地域社会との連携・継承等について
□	地域の伝統的なデザインの継承を意識している
□	地域の街並みの継承を意識して対応する
□	地域の住まい方の継承を意識して対応する
■	地域型住宅に和の住まいの要素を取り入れた対応を行う

災害時等への対応についての確認

選択	災害発生時・発生後の対応について
■	特に取り決めていることは無い
□	取組みを行っている

※　災害発生時の国土交通省よりの情報提供の受け取りについて

■　情報提供を受る

受付番号	047	グループ名称	かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会

グループの取組み等PRポイントについて

かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会は、地元の中小工務店をはじめ原木供給事業者、製材事業者、建材流通店、プレカット事業者、設計事務所など住宅建築に関わる事業者と、その他、瑕疵担保責任保険法人、住宅診断事業者など建築後の暮らしに関する事業者で構成されたグループです。
本会は、「地産地消」をテーマに香川県を中心とした四国・瀬戸内地方の気候に適し、あんしん・あんぜんで快適な暮らしが永く続けられる住宅を目標にしております。
グループ事務局主催で、当事業をはじめとする各種補助金や国の政策に関するセミナー開催や、建材・住設の新商品などのご提案、省エネに関する商材のご提案、専門工事で得た知識やノウハウを

地域型住宅の性能・アピールポイントについて

四国地方においては、蒸暑地域を抱えていることから、夏季における断熱・省エネルギー化を図ります。また人口減少に伴う高齢化率の上昇に伴う高齢者人口増加の対策。そして来たるべき南海沖地震の対策として最大限の考慮が必要であります。したがって、地域型住宅の重視する性能として以下に示す事項が基本性能とします。
1）暴風、地震による対策がされた家づくり　（木造住宅耐震等級３）
2）省エネ対策がされた家づくり　（断熱性能等級４以上）
3）高齢者対策がされた家づくり　（高齢者対策等級３）

地域型住宅における地域材の活用について

主要構造材に地域材・国産材・合法木材を50%以上使用する事とします。
主要構造材は、土台、柱、横架材とするが、羽柄材（間柱、小屋束、母屋、棟木、隅木、根太、垂木）に地域材・国産材・合法木材を使用する場合は、その割合計算に含めても良いとします。
地域材・国産材・合法木材については、取扱事業者として認定を受けた事業者から購入した物のみを使用します。

引き渡し後の維持管理について

長期維持管理計画に基づいて、インスペクションや定期点検等を新築直後・3年・5年・10年・10年以降5年おきに30年まで点検を実施し、不良部分は修繕し建物を良好な状態に保つ事で建物の資産価値を残し、その後の売却、賃貸、継承を金融面から支援する手法を確立します。
新築時の図面や仕様書等、定期点検時の補修履歴は、災害時の消失に備え住宅履歴情報サービスの利用を推奨します。
事務局では、新築時より10年後の瑕疵保険満了後には、延長瑕疵保険をご提案できる体制を整えています。
また、施工事業者には消費者の信用を得られるよう国土交通省認定の住宅リフォーム事業者団体に

消費者相談窓口の有・無と対消費者に対する対応内容

■　消費者相談窓口がある

消費者様の新築時における工務店選びをお助けするため「暮らしの窓口」を設立し、グループ内の工務店を紹介する準備を進めております。

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（ゼロ・エネルギー住宅型）

様式5　モデルプラン

グループ名称	かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会
R3採択グループ番号	10 - 0019 - 0559

F：交付申請におけるBELSの申請書作成及び申請は、どのような方法で行いますか？

選択項目					
□	グループ事務局が実施	■	申請事業者（施工事業者）にて実施	■	外注（外部事業者に依頼）
□	その他				

（1）－6　：モデルプランによるゼロエネ住宅性能の試算で、モデルプラン計算は、どのような方法で行いましたか？

選択項目				
■	グループ事務局が実施	□	外注（外部事業者に依頼）	
□	その他			

（1）－7：モデルプラン計算結果（必ずモデルプラン計算を1つ以上入力ください）

No	想定する地域区分（1～8）	外皮平均熱貫流率（UA値）	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					
			全体 R(%)	太陽光発電を除く R0(%)	太陽光発電	太陽光発電 容量（kW）	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	既定の評価に含まれないもの（記述）
1	6	0.6	102	21	■	4.3				■
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

NearlyZEHのモデルプラン計算結果

設問（3）.でNearlyZEHモデルプランを選択した場合は、必ず1つ以上入力してください

No	想定する地域区分（1～8）	外皮平均熱貫流率（UA値）	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					
			全体 R(%)	太陽光発電を除く R0(%)	太陽光発電	太陽光発電 容量（kW）	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	既定の評価に含まれないもの（記述）
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

（2）評価委員会による評価　　（評価委員会による評価を選択の場合、ゼロエネ審査室より連絡があります）

（2）－1：導入する省エネ手法をお答えください

選択項目				
□	空気集熱式太陽熱利用システム	□	地熱利用	
□	その他			

（2）－2：現在の運用をお答えください

選択項目				
□	実際の物件に導入している	□	実際の物件に導入していない	